

要望書

東武野田線(野田市)連続立体交差事業及び関連事業の計画的かつ円滑な事業実施のため、必要な国の道路関係予算の確保

令和2年9月

千葉県 野田市

野田市は、千葉県北西部に位置し、江戸川や利根川を挟んで埼玉県及び茨城県と接し、市域を東武野田線が南北に縦貫しているため、市街地は分断され、両県の発展に伴う交通量の増加により、主要地方道つくば野田線及び主要地方道野田牛久線と交差する愛宕駅や野田市駅付近は、慢性的な交通渋滞が生じ、市域発展の大きな障害となっております。

こうしたことから、東武野田線連続立体交差事業により、愛宕駅、野田市駅の2駅を含む延長約2.9キロメートル区間の鉄道を高架化し、11箇所の踏切除却と交差する幹線道路の整備により、交通渋滞や踏切事故の解消、歩行者等の安全確保を図り、鉄道により分断された市街地の一体化など、安全で利便性の高いまちづくりを進めております。

また、事業の進捗といたしましては、全区間の高架橋工事が概ね完了したことから、軌道工事や電気工事を進めるとともに、新しい駅舎の建築工事にも着手しております。

野田市は、本事業に合併特例債を活用し、令和5年度の事業完了を目標に事業促進を図っております。

なお、関連事業につきましては、連続立体交差事業とともに駅前広場や鉄道と交差する道路の整備など、高架切替えに合せ事業効果を発現させるため、重点事業に位置付け、街路事業や土地区画整理事業等を積極的に推進しているところです。

こうした状況を踏まえ、国におかれましては、当連続立体交差事業及び関連事業を着実に進めるため、次の事項について特段の御配慮を賜りたく要望いたします。

一 東武野田線(野田市)連続立体交差事業及び関連事業の計画的かつ円滑な事業実施のため、必要な国の道路関係予算を確保すること

一 長期安定的に道路・街路整備を推進するため、新たな財源を創設するとともに、道路関係予算全体を増額し、所要額を確保すること

令和2年9月8日

野田市長 鈴木 有